

物理学委員会物理教育分科会（第26期・第5回）

議事要旨

日時 令和6年12月27日（金）9時～11時

会場 オンライン開催

出席者：新永浩子委員（委員長）、横山広美委員（副委員長）、市川温子委員（世話人）
板倉明子委員、中山迅委員、早瀬潤子委員、笠平委員（幹事）、渡部潤一委員
村山斉氏（外部講演者：カリフォルニア大学バークレー校物理学科教授／
東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授）

欠席者：関口仁子委員、藤井良一委員（幹事）、藤澤健太委員

配布資料

資料1：【議事要旨】物理学委員会物理教育分科会（第26期・第3回）

資料2：【議事要旨】物理学委員会物理教育分科会（第26期・第4回）

議事

（1）前回の議論の確認と報告

第3回会合（6月25日）および第4回会合（10月7日）の議事要旨を確認した。

（2）アメリカの大学院入試に関するダイバーシティを意識した取り組みに関して

村山斉氏（カリフォルニア大学バークレー校物理学科教授／東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授）より講演が行われた。講演では、アメリカの教育界におけるアファーマティブアクションからダイバーシティ・イクイティ・インクルージョンへの考え方の変化の背景とアメリカの大学物理教育におけるダイバーシティの現状の概説の後、カリフォルニア大学バークレー校における大学院入学選抜および教員選考においてインクルージョンの考え方が実際の運用の中でどのように機能しているかについて具体的な説明が行われた。その後、質疑応答と意見交換を行った。

（3）今期取り組むべき課題について、および（4）今後のスケジュール

シンポジウムの開催について、内容、主催の形式、開催時期などについて意見交換を行った。また、その準備の一環として、本分科会の次回会合において山本文子氏（芝浦工業大学教授）に、物理学会をはじめとする理系学協会によってこの20年ほど開催されている「女子中高生夏の学校」の取組について講演を依頼することを確認した。また、次回の会合は2025年3～4月頃の開催を予定することを確認した。

（5）その他

日本学術会議ホームページ上に掲載する本会合の議事要旨の作成について、委員長に一任することを確認した。